

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0570108365		
法人名	有限会社 ライフイン国見ノ里		
事業所名	グループホーム 国見ノ里		
所在地	秋田市豊岩小山字前田表158-3		
自己評価作成日	令和1年10月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/evaluation/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	令和1年10月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1)秋田銀行竿灯会に協力していただき行う、夏竿灯まつりに力を入れている。地域に貢献し、多くの住民に参加し楽しんでいただけるよう、飲み物や食べ物を格安で、そしてババヘアアイスは無料で提供している。
 2)ドッグセラピーの訪問を定期的を受け、交流を図り癒されて頂いている。
 3)外出にも力を入れ、入居者様から外出の要望があればお応えするのはもちろんのこと、その他にも天気や状況に応じ、こまめに外出支援に努めている。季節を感じていただけるよう、ハーブワールドや、小泉湯公園、千秋公園、道の駅や、全国的に紫陽花で有名な雲昌寺にも足を運び喜んで頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

職員は介護五訓に沿った支援を常に心に置き、忙しい業務の中でも利用者を見守り、心穏やかに過ごせるよう支援しています。地域の課題として水害対策について運営推進会議で話し合っ解決に向けた努力をしており、また、ホームの行事には地域の方々や小学校から積極的な協力が得られて地域の行事として定着しつつあり、地域との関係性を保つためにも会議が効果的に活用され、地域との密接な関係を構築しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社の理念である「支援介護五訓」があり、毎朝朝礼時や、会議前に全員で唱和をし、全員が意味を理解し、実践に繋げる事ができるように努めている。	開設当初より理念は変わっていませんが、会議等で唱和することで共有化が図られ、日常の介護場面においても理念に基づいたケアができるよう取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏には竿燈祭りを開催し、小学校からはテントをお借りしたりし、地域の方々に楽しんで参加して頂けるよう、ババヘラアイスを無料にしたり、ジュースや焼きそば等も安価で提供させていただいている。又、近所の理容室を定期的に利用させていただき交流を図っている。	ホームの夏祭りには小学校や地域の方々から積極的な協力が得られています。地域の行事として定着しつつあり、地域に親しまれるホームとして継続して開催していきたいと考えています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	運営推進会議を通し、事業所内で行っている取り組みや研修、外部の研修に参加している内容等を報告し、理解していただけるよう努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、入居者様の状況や状態、医療連携の様子を報告し、意見を求め話し合いを行い、サービスの向上に努めている。	会議はホームの取り組みを知っていただく良い機会となっていると共に、地域の課題として水害対策についても話し合う等、活発に意見交換しており、会議を有効に活用しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護保険課、保護課等へ報告相談等を行い、包括支援センターへは、運営推進会議に参加して頂き、意見や情報をいただきながら、良好な関係を築けるよう取り組んでいる。	行政とは必要に応じて随時連絡を取り、利用者の支援に繋がっています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修に参加し、会議時に周知し、事業所内全体で学ぶ機会を設けている。玄関の鍵に関しては常時開錠しているが、入居者様の心身の状態に応じ施錠することもある。	チェック表で日常のケアを確認しており、身体拘束は行われておりません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部への研修の参加と、職員全員へ周知の徹底を図り、虐待を見逃さないように注意をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今年度は成年後見制度等の研修に参加する事は出来なかったが、後見制度を利用されている入居者様がいらっしゃるため、職員間で共有できるよう周知を図っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、時間をかけ、これからの生活の流れや施設の説明を行い、わからない点や不安要素が残らないよう話し合いを十分に行っている。 そして契約書や重要事項説明書を見ていただきつつ、読み上げ、細かく説明し、理解納得していただいた上で契約を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議時に意見・要望を聞き取り、意見を伝えられる環境づくりを行っている。又、玄関には意見箱を設置している。	家族とは話しやすい関係性を心がけており、面会時に写真ファイルを見ながら話を聞く等して意見の引き出しに努めています。更に意見、要望の引き出しができるよう対応を検討しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月職員会議を設けている。会議では職員が意見を言いやすい雰囲気を作り、活発な意見交換ができるように努めている。	職員が意見を言いやすい環境があり、会議や日常業務の中で活発に発言して反映できるよう努めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の労働環境の整備、有資格手当の支給、昇格など、職員が向上心をもって働けるよう努めている。又、有給休暇を率先して取得してもらえるよう心掛けている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験年数や力量に応じ、外部研修の内容に合わせ参加の機会を設けている。又、職員会議時に勉強会を設けたり、必要に応じミーティングを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ケアパートナーズの勉強会や、南部圏域グループホーム勉強会で行われる研修や交流会に、代表者、管理者、職員も積極的に参加し、質の底上げに取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所相談後に、ご本人とお会いし、困っている事や不安なことなどをしっかりと聞き取りを行い、安心してご本人が望む暮らしができるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所相談後に、ご本人同様、ご家族にも不安等の聞き取りを行っている。又、入居後も、ご家族とこまめに電話等でやり取りを行い、ご家族が困らないような関係作りに努めている。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に庭に外気浴に行ったり、一緒にお茶を飲んだり、一緒にタオルや衣類を畳んだり、掃除を行いながら、一方的にならないよう、共に行い良好な関係を築けるようにしている。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月お便りを送り、面会時には近況報告を行い、常に入居者様の様子を把握していただき、ご家族のご意見や感想等も取り入れ、共に支援できるように努めている。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人やご家族の希望を取り入れ、面会や外出、外泊の希望には快く応じている。又、昔の思い出の場所が消えないよう、会話の中に取り入れるなどの支援に努めている。	馴染みの関係継続のために、家族や近所の床屋さんの協力が得られています。昔からの祭りの様子を観ることができたり、得意なことを続けたり、これまでの生活の中にあつたものを暮らしに取り入れています。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係を把握し、一人で寂しく過ごしている方がいる時には、仲のよい入居者様に遊びに居室へ行っていただいたり、支え合える関係作りの支援に努めているが、普段から仲の良い入居者さん同士がよく居室の行き来をされている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設への入所や、入院の為に退居される際には、これまでの状態等を、先の方々が受け入れしやすいように、情報提供や連絡を速やかに行い、入退居が滞りなく行えるよう協力を積極的に行う。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中、支援していく過程から、ご本人の希望や意向の把握に努め、ご本人らしさを支援できるように努めている。	日々の関わりの中から意向の把握に努め、申し送りや記録に残して情報を共有しています。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時に生活歴を確認しているが、支援させていただく過程、関わりの中からも把握に努め、又、ご家族とのやり取りの中からも、聞き取りをし把握に努めるようにしている。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の関わりや支援させていただいていく中から、心身の状態はもちろん、残存機能の把握に努め、維持して頂ける事が出来るよう配慮を行っている。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の要望や思い、ご家族の意向を聞き取り、カンファレンスを行い、現状を把握しながら、必要な支援を取り入れ介護計画を作成している。	カンファレンスで職員の意見を聞き、介護計画を作成しています。介護計画の見直しの時期に限らず、面会時や電話での会話も家族の意向として反映させています。	日々の介護記録の仕方を工夫し、モニタリングや介護計画の見直しに繋げる取り組みを期待します。
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の介護記録には、日々の生活を詳細に残すようにしている。又、いつもと違う場合には、日誌や連絡ノートに記載し、職員全員で情報を共有し、支援に繋げている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人より要望があるときはもちろん、要望がない時等も、気分転換に外出したり、スーパーで買い物を楽しんでいただいたり、散歩がてら美容室に行っていたり、地域資源の把握と活用を取り入れた支援に努めている。		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に希望のかかりつけ医を継続するか確認し、自由に選択していただいている。2週毎の内科の訪問診療と、月1回の皮膚科の訪問診療があり、突発的な病気には、先生に電話で指示を受けたり、受診したりと、必要に応じ適切な医療を受けて頂く事が出来る支援を行っている。	基本的には希望する医療機関で受診していますが、個々の状態に応じ、適切な支援が行われています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の在中にはないが、2週毎の訪問診療をうけており、緊急時には訪問診療医に連絡をし、指示を仰いだり受診を行い、適切な診療を受ける事ができるよう支援している。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際は、速やかに情報提供を行い、医師、看護師、医療相談員室等と連携をとれるよう、こまめに連絡を行ったり、病院に足を運ぶようにしている。又、必要に応じカンファレンスを開催して頂き、退院後も安心して暮らすことができるように努めている。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在、終末期の方がいらっしゃらないが、重度化した場合や終末期が予測される方には、早い段階から、ご本人・ご家族と十分に話し合いを行い、事業所内、関係者、医療関係者等とも十分情報を共有し合いチームで支援できるように努める。	現在対象者はおらず、実績ありませんが、今後ホームでの看取りを希望する方がいれば、家族や関係者、職員が協力して支援できるよう取り組んでいます。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員数名が消防による救命救急の講習を受け、研修に参加できなかった職員も同じ内容で勉強し、緊急時に対応できるよう取り組みを行っている。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎年必ず災害に備えた避難訓練を実施し、今年度は11月の運営推進会議時に地域住民も参加していただき避難訓練を実施する予定。	水害対策については運営推進会議で地域の方々と度々話し合っています。避難ルートや避難場所等、課題も多くありますが、検討を重ねています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員会議でも研修も行い、特に入居者様への尊厳やプライバシー等を損ねないケアを実施できるように努めている。 人前でトイレへ誘導する場合もトイレという言葉を使わない、子ども扱いするような言葉遣いにも気を付けている。	トイレ誘導の際には、本人の気持ちに配慮し、さりげなく声かけしている他、入浴時の同性介助にも配慮しており、利用者を傷つけない対応を実践しています。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常にコミュニケーションを心掛け、思いや悩み希望を聞き出すように努めている。お茶の時間やレクリエーション、外出時にも希望を聞き取り、要望に応えるようにしている。		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なかなか出来ずに職員側の都合を優先しがちになっているが、その人らしい暮らしができるような支援に向けて取り組みをしている。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の着替えや、外出時の着替えは、ご本人が着用したい洋服を着ていただいている。同じ洋服を着がちな方へは、違う洋服へも目がいくように何種類か出して選択していただくようにしている。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理作業は専門の職員がいるため一緒に行っていないが、食後の後片付けや、おしぼりの洗濯や干し方、畑の苗植えや草むしり、収穫などの一緒に行っている。	食事は適量でバランス良く盛り付けられています。畑で野菜を育てて収穫し、食材の買い物に出かけ、流し素麺やバイキング形式の食事を提供する等、食べることに繋げる工夫をしています。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食事の摂取量や水分量を把握できるよう記録し、それを参考に不足しないように努めている。又、嚥下や健康の状態、好き嫌いなどにも対応し、おいしく食べていただける事ができるよう支援している。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きを実施している。一人で行う方には声掛けをし、介助が必要な方には、職員が毎回誘導し介助を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を利用し、こまめにト排泄時間を把握し、トイレで排泄できるよう誘導・介助を行っている。	男性便器を使用する方もおり、自立を損ねないように対応しています。改善できることを目標に、チェック表で1人ひとりの状態を確認しています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄、水分、食事摂取量の表を活用し、排便の有無を把握し、便秘にならないよう運動不足にならないよう、体操したり、レクリエーションで身体を動かしたり、外を散歩をしたり等の対応をしている。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	全員の希望に沿う支援がなかなか出来ず、職員の都合になりがちではあるが、入浴を拒否されがちで、夜間の入浴を希望される為、遅番のいる時間帯で遅めに入浴して頂いている。	拒否する方もおりますが、できる限り個々に沿って支援しており、週2~3回のペースで入浴しています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の体調や気分に応じ、自由に過ごす事が出来る、休む事ができるよう支援している。居室の温度や湿度、カーテンを天気や季節に応じ調整し、健康状態を崩すことがないように配慮している。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルにお薬手帳をどじ込みしており、職員が常に確認できるようにしている。薬の変更がある際は、必ず朝礼時や申し送り時で周知し、連絡ノートに記入している。その後のカンファレンスや、会議時にも再度確認し、身体の状態の変化を確認している。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活の中で、掃除や洗濯、干し方等を手伝っていただいたりし役割を担っていただき、それぞれお好きなゲームや風船バレー等のレクリエーションを楽しんでいただいたり、外出や近所の散歩で気分転換を図っていただき、リフレッシュして頂ける支援を心掛けている。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	全員が外出好きではないが、2~3名の方は外出する事を好まれる為、外出をしたいという希望があれば、沿うように支援させていたっている。大勢での突発的な外出は難しいが、1~2人であれば、いつでも外出できる体制を整えている。	声をかけて買い物に付き合っていたり、急な要望に応じて出かけることもあり、また、園庭の花壇や畑のお世話等、戸外に出かける機会を設けるようにしています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持はトラブル防止の為に、入所時にご本人、ご家族に説明し施設で預かっているが、週に一度は移動販売車があるため、自身で買いたい商品を自由に選んで買い物をしていただいている。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	玄関に公衆電話があり、自由に使い、希望があれば支援するが、自宅や知り合いにかけた入居者さんがいない状態にある。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度や湿度、匂いや明るさにも常に配慮し、清潔を保つように努めている。 廊下には、入居者様の目に留まるよう外出時の写真や、季節に応じた風景の写真を掲示し、入居者様に季節を感じていただけるよう配慮している。	空調管理を行って過ごしやすい環境に配慮しています。風景写真や装飾を季節に合わせて取り替え、窓から見える景色でも季節を感じることができます。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールには食事をするテーブルと、個々にテレビなどが見れる長椅子を準備している。 気の合う方同士と一緒に座り会話したり、女性入居さん同士が並んで座り一緒に歌を歌ったり楽しまれている。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用していたタンスや備品等をなるべく持って来ていただき、ご自身の部屋として馴染むように自由にいただいている。	室内設備の保全に努めており、利用者一人ひとりの安全と居心地の良い生活の場をつくっています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレには分かりやすいように「トイレ」と表示し、居室の扉に記名し、入り口にはそれぞれ違った造花の花束を飾り、他の方との違いを出し等し、配慮している。		